

## 幸田町ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界では猛暑や豪雨などの地球温暖化が原因とみられる災害等が増加しており、深刻な問題となっております。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に共有されました。

また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、パリ協定での目標を達成するためには「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにする必要がある」とされました。

このような温室効果ガス削減目標達成に向け、事業者、行政などによる脱炭素社会に向けた取組が急速に広がっており、環境省は、全国自治体に向けて2050年温室効果ガス排出実質ゼロ表明の呼び掛けを行っています。

本町においても、未来を生きる次の世代に「自然豊かで美しい幸田町」を引き継いでいくために、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにする「幸田町ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組を着実に進めていくことを表明します。

令和4年2月24日

幸田町長 成瀬 敦